

双方向コミュニケーション強化に向けて

## CEO LIVE !

2023年12月12日

IR室

今井 智佳子



IR室の今井と申します。コニカミノルタに入社して10年目になります。  
今日は私から、大幸さんや役員と共に取り組んでいるCEO LIVE ! についてご紹介いたします。

毎四半期、社長・他役員からグループ社員に決算や戦略を説明  
若手社員と企画し、役員と社員の双方向コミュニケーションを醸成

企画の打合せ



オンラインと拠点でのハイブリッド開催



当社では四半期毎に、大幸さんや役員が全グループ社員に決算や事業の戦略を説明するCEO LIVE!を開催しております。国内拠点を順番に訪問して、会場とオンラインでのハイブリッド開催をしています。

Q&Aコーナーでは、社員がどの拠点からでもオンラインでアクセスして質問することができ、役員がその場で質問に回答し、マネジメントと社員の双方向コミュニケーションの場にもなっています。

私も含め、企画やプレゼン資料を作成しているメンバーは、20代から30代前半の若手社員です。月に一度か二度、大幸さんと打合せをして、シナリオやストーリーを練っています。

グループのベストプラクティスを表彰し、  
世界中の従業員とともにイノベーションの風土を醸成



この私達の取り組みが、今年度の社内表彰制度“Konica Minolta Awards”で、ファイナリストに選ばれました。今回私達がその際に作成した動画を、皆様にご覧いただきたいと思えます。

なお、このCEO LIVE！は、以前は管理職のみを対象にしていたことから、Group Management Meeting、略してGMMと昨年まで呼んでいました。動画内でGMMと出てきますが、旧名称のことですのでご了承ください。

それでは動画をご覧ください。

当社ウェブサイト上の「参考動画：CEO LIVE! ～双方向  
コミュニケーション強化に向けて～」をご覧ください。

<https://bcove.video/3J14nqA>

～動画投影～

いかがでしたでしょうか。メンバー皆でわいわいと動画を作成しました。

### 社員からの質問例

- 減損処理を行ったということは、今後は「価値評価の方法・基準を見直す」必要があると思う。どのような施策が考えられるでしょうか？
- 過去の失敗は何が課題だったか？今後、人材育成・組織強化について、我々エンパワメントリーダーはどのような点に注意して行動していかねばならないとお考えでしょうか？
- “決める”ことが多いと思いますが、何を大切にしていますか？

役員が質問にその場で、または後日に回答

### 登壇役員の紹介



役員の人となりを知る場

このように、大幸さんに意見を提案し、議論して、それを反映することで、社員目線の分かりやすい説明会が開催できています。

Q&Aコーナーは、最初に導入した頃は社員からの質問もぽつぽつと出てくる感じだったのですが、回を重ねて、大幸さんのお人柄が社内に浸透してきたこともあり、今では社員からの質問も活発になっており、会社が変わってきているなど実感しています。

直近のQ&Aでは、社長のみだった登壇者を他の役員まで拡大したことが、社員からも好評でした。時間切れになることも多く、その場合も後日に役員から回答しています。

大幸さんはじめ役員がどんな質問にも率直に答えられていますが、社員の目線から見ても、そんなことまで話してくれるんだと思うようなマネジメントの議論などもオープンに話してくださっていると感じています。

また自己紹介コーナーを通じて、役員の意外な一面を知る機会もあります。

このような双方向コミュニケーションを通じて、自分たちも会社に貢献していると確信でき、自信と成長につながっています。今後も社内の対話を通じて、コニカミノルタをもっと良い会社にしていきたいと思っています。

過去から決別し、  
「事業の選択と集中」を進め  
再び成長軌道に乗せていきます。



[https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir\\_library/ar/2023/index.html](https://www.konicaminolta.com/jp-ja/investors/ir_library/ar/2023/index.html)

最後にIR室からの宣伝になりますが、統合報告書についてご案内いたします。

今年度の表紙は、真っ白なシンプルなデザインを採用しています。大幸さんや社外取締役のメッセージでも話されていますが、「過去から決別し、新しいスタートを切る」という強い意志を表紙にも込めています。

皆様、ぜひご覧いただけますと幸いです。

私からは以上となります。ご清聴ありがとうございました。



KONICA MINOLTA

150

YEARS